



広報誌：「遊便」（第17号）
 発行：医療法人 仁風会 八雲病院
 発刊日：2019年10月3日

巻頭言

「心をこめて関わること」

地域連携室室長（精神保健福祉士）

戸谷 亜矢子

「なぜpswになろうと思ったのですか？」折に触れ質問される機会があります。それは初心に帰り、これからは思いをはせる問いとなっています。

精神科ソーシャルワーカー（psw）は一九五〇年代より精神科医療機関を中心に医療チームの一員として導入された専門職です。日本では平成九年精神保健福祉士という名称で国家資格化されました。多くの先輩ワーカーが精神科医療の変遷の中、地域に様々な社会・福祉資源を創ってこられ、現在では職域も医療の他、福祉や介護、教育、行政、司法等多岐に渡っています。当院でも資格取得を目指す学生の実習を受け入れていますが、必ずと言っていいほど尋ねられるのが冒頭の質問です。

私は高校生の頃ある方と出会い、初めて精神の病気の存在を知りました。病が人生に与えていた喪失感の大きさを今も鮮明に覚えています。その出来事がソーシャルワーカーの道へ導いて

くれましたが、様々な出会いの中で喜びはもちろん、葛藤することの方がおしる多かったように思います。今も厳しい状況にある方はたくさんおられます。すでに完成された組織の中で安住せず、専門職としてどう在るべきか、自分はどう動くか、現場にいる限り模索が続いていきます。

「相手と向き合うことをあきらめず、心をこめて関わること」新人の頃上司から教えられた言葉ですが、先般も同じアドバイスをくださった方がいました。いつからか性急な課題解決にとらわれていたのです。心をこめた関わりの中でこそ芽生える気付きの数々が、相手の理解につながることに。取り巻く環境や社会の課題が見えてくること。何度でもソーシャルワーカーの原点に返るしなやかさを持ちながら、日々目の前にいる方々に関わっていきたいと思います。

巻頭言	1	遊便第十七号…もくじ
特集 「リカバリー②」	2	
法人内研修	2	
ホーランエンヤ	3	
法人アクセス	4	

発行元：
 〒690-0033
 松江市大庭町1460-3
 医療法人仁風会 八雲病院
 広報委員会電話：0852-23-3456

特集

リカバリー(回復)とは…②

前回誌面では、リカバリー(回復)について、ピ・フレンドィングで開催された家族教室での体験発表について報告しました。

第2回となる今回は、現在島根県内で注目を集めている当事者の方のリカバリーについて、ご紹介したいと思えます。

その方のお名前は、目次孝之さんです。現在、松江市にある障害者就業・生活支援センターぷらすにて「ピア・スタッフ」として就労しております。ピアとは、“仲間”という意味がり、精神障がいのある当事者同士、仲間同士という意味合いで、ピア(仲間)という立場で、職員にはない視点や持ち味を生かし、時には当事者の方の代弁者、時には当事者同士であるから厳しく接することもできるような、当事者同士分かち合え

る支援をされています。

そんな目次さんから、昨年松江市内で開催された精神保健福祉士の中四国大会において、「当事者からリカバリーを考える」と題して講演をして頂きました。このお話がとてもインパクト、そしてメッセージ性に優れていたため、その後も反響も大きく、県内の様々な機関から講演依頼があり、リカバリーや当事者性などについて普及啓発をされています。以下は、中四国大会における、目次さんからのメッセージを抜粋したものです。

「当事者」になる、ということは、“自分自身の病気をどう受け入れ、病気である自分の人生をどう組み立てていくのか”ということです。そのために、自分の支援者である人たちにどのようにして自分を理解してもらえるのかを

考え、実践しました。

結論として、見えてきたことは「当事者自身」が「当事者自身」を肯定する人生を生きる、ということこそ、当事者のリカバリーであるということ。当事者からも支援者からも必要とされる人になること、それが私の目標です。

(森脇)

※この特集は今回で終わりです。



イメージ
(車椅子マラソン者のリカバリー)

法人内 研修

新人研修報告

当院では、新たに入職した職員を対象として、新人研修を行っています。

安全な医療が提供できることを目的に、精神科病院で勤務する上で必要な基礎知識について学びます。

今年度は、5月20日と6月4日に実施されました。対象の入職者は7人でした。

講師は、法人内の看護師、精神保健福祉士、薬剤師、防火管理者の多職種スタッフ

が専門性を生かして担当しました。

研修項目は、①褥瘡②精神科看護③感染予防④薬について⑤精神保健福祉法について⑥医療安全⑦防災体制と設備についての7つの講義が実施されました。

どの講義も実践をまじえたりといったわかりやすく伝える工夫がされていました。

新入職員の皆さんの、熱心にメモをとりながら講義を受

けておられる姿は、とても印象的でした。質問も積極的にあり、有意義な時間になった様です。終了後のアンケートでは、各々の講義について知識が深まり今後に生かしていきたいというフレッシュな思いが語られていました。

私自身も、新しい仲間を支援し、共に学びながら、共に成長できるよう、努力していかなければならないと改めて実感しました。(木村)

病院もホーランエンヤを応援

令和元年5月、松江市内において10年に一度の大神事、約100隻の船が大橋川と意宇川を舞台に繰り広げる、絢爛豪華大船行列「ホーランエンヤ（370年の歴史を有する松江城山稻荷神社式年神幸祭の通称）」が開催されました。水の都松江が誇る全国最大級の船祭りです。令和初の神幸祭であると共に、マスコミ各社により全国に向けた報道もあり、観客数が過去最高の38万5000人と発表されたそうです。

当法人も地元で開催する、この歴史的な神幸祭の成功を祈願し、奉賛金協力を行い、松江城山稻荷神社式年神幸祭奉賛会より「のぼり」掲出を受け賜りました。

9日間にわたって執り行われる神幸祭の見所は、何と言っても、5月18日の「渡御祭」、22日の「中日祭」と26日の「還御祭」。五大地と呼ばれる地域の人々が色とりどりに装飾した權伝馬船に乗り組み、松江市指定無形民俗文化財「權伝馬

踊り」を勇壮に披露。

晴天の中、無事に10年ぶりの大神事が成功に終わったことは、病院としてもとても嬉しいことでした。

(森脇)



奉賛金協力による掲出された「のぼり」を外来待合室に展示中です

法人施設紹介

コスモスの皆で外出してきました

先日、コスモスの活動で、ホーランエンヤ中日祭を見物してきました。

私は島根県人ではありますが、ホーランエンヤの存在を知ったのが10年前。実際に見たのは、今回が初めてでした。雲南の山の出なので…と思っていました。がコスモスの職員、利用者様とも松江在住の方が殆どですが見物に行った事があるのは、14人中僅かに1人だけなのは驚きでした。

見物した日は、ホーランエンヤの中日祭という事で3日間の中では規模は小さめ。5艘の船が8の字を描きながら

掛け声とともに舞い踊るというものでした。

若い頃から、伝統行事にさして興味がある方ではなかったのですが、中々に壮大。幕開けと同時に目頭が熱くなりました（恐らくは私の子と同世代の子の演舞に感動したのだと思います）本当は船神事のあと陸船に乗り換えて町の中を練り歩くという事で、そちらも見物した

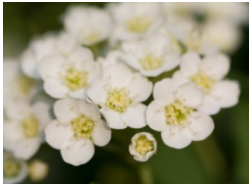
かったのですが、時間の都合で見る事叶わず残念でした。

次回となると随分先の事にはなりますが、渡御祭、還御祭もぜひ見物したいです。

(景山)



豪華絢爛な大船行列ホーランエンヤ



わたくしたちは心の声を大事にします
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

医療法人 仁風会

○八雲病院（外来診療時間午前中のみ）

平日8：30—12：30／土 8：30—12：30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456(代表)

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぼぼ（精神科デイケア）

※お問い合わせは代表まで

月曜日—金曜日 午前9：30—午後3：30

・デイケアやくも（重度認知症デイケア）

※お問い合わせは代表まで

月曜日—金曜日 午前9：00—午後3：40

○コスモス（自立訓練【生活訓練】事業所）

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ビ・フレンディング（地域活動支援センター・相談支援事業所）

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里（認知症グループホーム・介護保険）

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

○八雲病院 居宅介護支援事業所 電話(0852)23-3456(代表)

ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、是非下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会八雲病院、広報誌「遊便」共々よろしくお願ひ致します。

(医)仁風会 八雲病院
広報委員会まで

表紙写真について

松江市で毎年9月から10月に開催されている松江水燈路の写真です。当法人でも近年作品を出展、参加しています。

夏の暑さもようやくやく峠を越し、過ぎやすい毎日になってきました。毎年、省エネと暑さ対策のために色々な部署で育てているゴーヤのグリーンカーテンですが、今年も育成したスタッフの更なる工夫と頑張り、今までで一番の素晴らしい緑のカーテンが出来、見る人を涼ませてくれました。同じ植物でも、育て方により年毎に表情が違い、新たな発見があります。

(笠置)

お知らせ

ホームページのご案内

当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.yakumohp.net/>



八雲病院来院ルートのご案内

※平成30年8月25日より

